

日本鳥学会 2020 年度書面総会 資料

1. 報告事項

(1) 事務局関係報告

会員動向..... 2

(2) 評議員会報告..... 3

(3) 各種委員会報告.....3

和文誌編集委員会報告、英文誌編集委員会報告、鳥類保護委員会報告、日本産鳥類記録委員会報告、鳥類分類委員会報告、企画委員会報告、広報委員会報告、基金運営委員会報告、目録編集委員会報告

2. 審議事項

(1) 2019 年度会計決算・監査.....別添資料

(2) 2021 年度予算.....7

(3) 2020 年度予算の修正.....9

(4) 電子投票（マイページシステム）の導入.....10

(5) 規約改定.....11

会員動向

2020 年度会員数 (2019 年 12 月 31 日現在)

会員数 1,201 (2018 年末 : 1,201)

会員種別	2019 年末	2018 年末
名誉会員	6	5
永年会員	14	15
維持会員	14	12
普通会員	1,019	1,009
海外普通会員	3	5
学生会員	114	125
団体会員	31	30
海外団体会員	0	0

都道府県別会員数

北海道 126,

東北 90 (青森 19, 岩手 15, 宮城 34, 秋田 6, 山形 8, 福島 8),

関東 443 (茨城 38, 栃木 14, 群馬 9, 埼玉 51, 千葉 84, 東京 161, 神奈川 86),

中部 217 (新潟 41, 富山 8, 石川 16, 福井 10, 山梨 11, 長野 42, 岐阜 8, 静岡 22, 愛知 49, 三重 10),

近畿 153 (滋賀 18, 京都 29, 大阪 56, 兵庫 38, 奈良 8, 和歌山 4),

中国 57 (鳥取 2, 島根 8, 岡山 15, 広島 19, 山口 13),

四国 28 (徳島 8, 香川 7, 愛媛 8, 高知 5),

九州 67 (福岡 22, 佐賀 5, 長崎 8, 熊本 13, 大分 4, 宮崎 6, 鹿児島 9),

沖縄 17,

海外 3

2019 年度新入会員数 79 名

2019 年度退会者 85 名

自動退会 (会費未納除籍) 53 名

退会届出 30 名

物故 2 名

評議員会報告

会議冒頭に会長挨拶があり、新型コロナウイルス感染拡大に伴い残念ながら 2020 年度大会を中止したこと、電子投票の導入が評議員会の事前審議において了承されたこと（審議事項を参照）、会計幹事が 7 月より安藤温子から片山直樹に交代したこと（評議員会了承済み）等の報告があった。下記に記された各種委員会報告の後、事務局関係報告として会員動向（下記参照）と次期役員選挙から導入予定の電子投票の詳細について報告があった。また、昨年度から開始した韓国鳥学会との交流については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けてそれぞれの学会が中止となり、予定されていたお互いの学会での発表や打ち合わせが行えなくなった結果として、いったん休止とすることが報告された。決算案・予算執行状況等について報告の後、各審議事項について修正を行った上で承認されたが、黒田賞募集要項の文言変更については一部保留となった。なお、2021 年度大会は東邦大学習志野キャンパスにおいて山階鳥類研究所を事務局として実施することが予定されていたが、東邦大学が来年度もリモート講義を続ける方針であるため会場の目処が立たない状況であること、2 年連続の大会中止は避けたいことから、オンライン開催としたいと提案され、評議員会において了承された。

各種委員会報告

和文誌編集委員会

発行状況：68 巻 2 号を 2019 年 10 月、69 巻 1 号を 2020 年 4 月に発行し、注目論文は、江田真毅さんの考古鳥類学総説（黒田賞）と田悟和巳さんのレーダーを用いた渡り鳥追跡論文に決まった。69 巻 2 号も予定通り発行する見通し。**編集状況**：投稿数は順調だが、現時点では大会シンポ特集が無いため、昨年に比べ原稿数が少ない。しかし今年中に、前大会シンポ特集論文と黒田賞総説 3 本が投稿予定である。**J-stage アクセス状況**：2019 年のアクセス数は前年の 1.3 倍にあたる 66,666 件に増えた。国の内訳は昨年同様、日本が多数を占め（78.0%）、アメリカがこれにつぎ（15.8%）。ダウンロード数上位 20 報の内、総説 11、原著論文 6、短報 2、観察記録 1 と総説が半数以上を占めた。

英文誌編集委員会

編集状況：19 巻 1 号と 2 号を 1 月、7 月に発行した。Editor's Choice はそれぞれ A. DORZHIEVA 氏らの渡り時期の変化に関する論文と、C-C. CHEN 氏らによる夜間の渡りに関する論文。2019 年の投稿数は 32 編（受理 20、却下 5、取り下げ 1、審査中 6）、2020 年 1 月～7 月 2 日の投稿数は 27 編（受理 2、却下 12、審査中 13）。昨年に比べ増えているが、査読前に却下される論文も多い。**電子版アクセス状況**：資料トップへは昨年比 1.4 倍増の 5,132 件、全文 PDF へは 1.7 倍増の 17,890 件。**BioOne 売り上げ収入**：1,009,727 円。**トムソンロイター社関係**：IF=0.705（Ornithology カテゴリ 28 誌中 19 位）。昨年に比べ IF は微増、順位も 21 位から上昇したが、大きな変化ではなく引き続き注視が必要。

鳥類保護委員会

秋田県由利本荘市沖で大規模な洋上風力発電が計画されており、会員からの相談にもとづき対応を協議した。該当地域が鳥類にとって重要な地域であることから、準備書に対するパブリックコメントについて、鳥類保護委員会から意見を出すとともに、2020 年 2 月 3 日付で秋田県へ、同年 3 月 16 日付で環境省へ要望書提出した。また、コウノトリやトキの放鳥事業の際に餌として放流されるドジョウ等が遺伝的攪乱を生じさせる恐れがあるという問題提起について検討がおこなわれ、放鳥事業の際には自然状態で十分な採餌ができる環境を整備することが重要であり、餌の放流は望ましくないということを周知させるよう、鳥類保護委員会のウェブサイト公表することとした。

日本産鳥類記録委員会

- (1) 目録第 7 版の記述事項に関する質問への対応
- (2) 目録 6 版から 7 版への記載変更の根拠文献や情報の確認
- (3) 日本産鳥類の記録文献収集および整理
- (4) インターネット上の公表記録、個人的伝聞など文献化されていない記録収集
- (5) 日本産鳥類の記録に関する文献作成への協力
- (6) 目録第 8 版編集について目録編集のため各地の記録収集と整理
- (7) 目録 8 版発行後の新記録種の確認体制について検討を行っている

鳥類分類委員会

2018 年度新潟大会の評議員会・総会で、2022 年発行予定の日本鳥類目録改訂第 8 版出版に向けて臨時委員会、目録編集委員会の設置が承認され、分類委員会のメンバーは、全員が目録編集委員を兼務することとなった。この目録編集作業を行うために、分類委員会では、今年度前半は計 11 回の委員会を山階鳥類研究所（1 回）と、オンライン会議にて開催した。具体的な作業は、目録の改訂を行う上で必要な日本産鳥類の分類学的見解や分布域の確認、今後の作業スケジュールの確認等の作業を進めたが、特に目録第 8 版で掲載する各種の学名の検討を中心に行った。目録第 8 版で掲載する種については、そのリストをパブリックコメントの形で会員に公表し、広く意見を求める予定である。

企画委員会

2020 年度大会で企画委員会として予定していた鳥の学校、ポスター賞、シンポジウム、高校生企画はいずれも中止となった。男女共同参画関連では、2019 年 10 月 12 日（土）にお茶の水女子大学にて開催予定だった第 17 期男女共同参画学協会連絡会シンポジウムが台風 19 号の接近に伴い中止となった。第 18 期シンポジウム（2020 年 10 月 17 日、日本大学生物資源科学部湘南キャンパス）に委員一名が参加予定。

広報委員会

事務局、各委員会から依頼されるウェブサイトの変更は処理できている。Facebook と Twitter のフォロワー数が増えており（2020 年 7 月 12 日現在それぞれ 1,499 名、937 名）、学会ウェブサイトのサイドバーに SNS へのリンクボタンを設置した。2020 年度大会のウェブサイトと連絡先メールアドレスを鳥学会のサーバーに開設した。書面総会用のアドレスも開設し、学会事務局に提供した。鳥学通信は 10 件の記事を掲載したが、掲載記事数の向上に努めたい。6 月以降は毎日 130 前後のユーザー訪問がある。

基金運営委員会

黒田賞は山本誉士氏、中村司奨励賞は西田有佑氏を受賞候補者として選定し、評議員会で承認された。内田奨学賞は対象者がなかった。今年度は大会が中止となったため、黒田賞の受賞講演会は来年度に実施することとした。

各賞の選考委員会はこれまで対面開催を基本としていたが、委員の負担を軽減するため次年度からはオンライン開催を基本とすることに方針を変更した。黒田賞は応募要項を一部改定した。内田奨学賞は、現在の鳥学会としてあるべき理念および対象者の拡大について委員会内で検討した。

目録編集委員会

日本鳥類目録改訂第 8 版の 2022 年 9 月発行に向けて準備を進めている。今年度は 4 月 23 日、6 月 11 日、8 月 13 日に Web 会議をおこない主に次の作業を進めた。1) 種の学名の検討、2) 地域協力者からの調査票の回収と整理、3) 第 7 版 Part A 掲載種の再検討。第 8 版出版前にパブリックコメント（PC）の形でホームページ上に情報を公表し、学会員および関係諸団体から広く意見を求める予定であるが、PC は 2 回に分けて行う。まずは 2020 年 9 月頃に掲載種のリストを公表し、属以下の分類体系、および新規掲載種・再検討種の可否・追加について同年 12 月まで意見を求める。2021 年 9 月頃には、掲載種を確定して示すとともに、地域記録を公表し、同年 12 月まで意見を求める。

委員の交代がある委員会

鳥類保護委員会 退任：出口智広、新任：澤祐介（山階鳥類研究所）

企画委員会 退任：嶋田哲郎・水田拓、新任：澤祐介（山階鳥類研究所）・出口翔大（福井市自然史博物館）・松井晋（東海大学）・森口紗千子（日本獣医生命科学大学）

広報委員会 退任：なし、新任：遠藤幸子（日本科学未来館）

審議事項 1

2019 年度決算案

別添資料の決算案について承認をいただきたい。

審議事項 2

2021 年度予算案

I 通常会計

A 収入	2019 年度決算 (案)	2020 年度予算	2021 年度予算 (案)	備考
1 会費収入	6,058,000	5,865,000	5,902,000	前年 12 月 31 日現在の会員数から算出
a 普通会員会費	5,258,000	5,070,000	5,110,000	@5,000×1,022 (国内 1,019+国外 3)
b 維持会員会費	140,000	120,000	140,000	@10,000×14
c 学生会員会費	360,000	375,000	342,000	@3,000×114
d 団体会員会費	300,000	300,000	310,000	@10,000×31
2 鳥類目録売り上げ	89,800	160,000	76,000	前年度実績から@4,000×19
3 用語集等売り上げ	45,600	24,000	43,200	前年度実績から@2,400×18
4 電子ジャーナル売り上げ	1,060,098	1,000,000	1,000,000	2017 年、2018 年度振り込み分から
5 大会準備金返納	0	1,000,000	1,664,177	2019 年度大会繰越金 464,177 を加算
6 雑収入	227,263	200,000	200,000	前年度実績より
7 利子収入	520	520	520	650 万×0.001%×0.8
8 会員寄付金 (特別会計へ)	68,500	50,000	50,000	
単年度収入合計	7,549,781	8,299,520	8,935,897	
B 支出	2019 年度決算 (案)	2020 年度予算	2021 年度予算 (案)	備考
1. 事業費	7,314,891	6,972,000	6,969,677	
a 学会誌	5,904,120	4,720,000	4,720,000	
1) 編集費	499,886	520,000	520,000	和文誌：原稿郵送料等 30,000、ソフト ウェア使用料 10,000 英文誌：電子投稿システム 240,000、補 助アルバイト 240,000
2) 英文校閲費	300,000	300,000	300,000	和：50,000、英：250,000
3) 印刷製本費	4,215,260	3,000,000	3,000,000	和：2,000,000、英：1,000,000
4) 会員向け送料	888,974	900,000	900,000	
b 委員会	302,558	897,000	430,500	
1) 日本産鳥類記録委員会	0	60,000	60,000	資料費
2) 鳥類分類委員会	0	0	30,000	目録の分類検討のための資料購入
3) 企画委員会	88,156	133,000	62,000	シンポジウム参加、鳥の学校、ポスター 賞関連
4) 広報委員会	29,696	60,000	60,000	レンタルサーバー代、ウェブ管理費
5) 基金運営委員会	148,226	120,000	16,500	通帳管理用貸金庫代、zoom 会議費 賞の選考委員旅費が例年より大幅減
6) 鳥類保護委員会	25,680	50,000	50,000	要望書提出旅費
7) 目録編集委員会	-	464,000	142,000	zoom 会議費、目録旧版 PDF 化に伴う 再製本費、データ整理人件費
8) 各種委員会経費	10,800	10,000	10,000	
c 出版物	9,713	20,000	20,000	
1) 出版物送料	9,713	20,000	20,000	過年度の執行状況から
d その他	1,098,500	1,335,000	1,799,177	
1) 負担金	30,000	25,000	25,000	自然史学会連合負担金 20,000、男女共 同参画学協会会費 5,000
2) 寄付 (特別会計へ)	68,500	50,000	50,000	会員寄付金
3) 大会準備金	1,000,000	1,200,000	1,664,177	
4) 大会託児室	-	60,000	60,000	
2. 事務費	2,451,424	2,070,000	3,400,800	
a 事務外注費	1,557,442	1,550,000	2,362,000	業務委託費は 1,560,000-60,000(マイペ ージ利用で会費納入チェック作業がな くなる分割引)、マイページ開設費 743,000、運営費 119,000

b 役員選挙費	321,374	-	188,800	マイページ選挙費用 173,800、選挙立会人交通費・アルバイト代 15,000
c 役員旅費	4,386	10,000	10,000	会計監査旅費
d 印刷費	224,176	200,000	200,000	会費請求印刷代、学会封筒印刷代等
e 通信費	147,672	150,000	150,000	年会費請求書の郵送代等
f 雑費	42,397	50,000	50,000	学会備品、評議委員会弁当
g 会費納入手数料	153,977	110,000	440,000	手数料（最も高額な JCB クレカ払いを仮定）
3. 予備費	70,934	50,000	50,000	
単年度支出合計	9,837,249	9,092,000	10,420,477	

C 収支	2019 年度決算 (案)	2020 年度予算	2021 年度予算 (案)	備考
1. 単年度収支	-2,287,468	-792,480	-1,484,580	マイページシステム導入のために大幅なマイナスとなる。ただし初年度の開設費が大きいので、毎年この金額ではない。また手数料は下がる可能性が高い

ダッシュは予算化されていない。ゼロは予算化されたが執行されなかった。

II 特別会計

A 収入	2019 年度決算 (案)	2020 年度予算	2021 年度予算 (案)	備考
1 特別会計寄付収入（個人）	68,500	50,000	50,000	
2 特別会計寄付収入（大会）	883,187	-	-	前年度大会からの寄付
3 利子収入	1,859	2,000	2,000	
4 その他	0	0	0	
合計	953,546	52,000	52,000	
B 支出				
1 内田奨学賞副賞	0	50,000	50,000	
2 黒田賞副賞	100,000	100,000	100,000	
3 中村司奨励賞副賞	50,000	50,000	50,000	
4 IOC 助成	-	-	-	
5 津戸基金シンポ	100,000	-	100,000	募集は隔年
6 その他	0	0	0	
7 雑費	972	2,000	2,000	学会賞副賞の送金手数料
合計	250,972	202,000	302,000	
C 収支				
1 単年度収支	702,574	-150,000	-250,000	

審議事項 3

2020 年度予算の修正

昨年提出された 2020 年度予算案について I 通常会計のうち、C 収支、1. 単年度収支について予算案作成中の単純な計算ミスによる誤りがあった。お詫びして修正し、再度承認を得たい。

誤 -612,480 円

正 -792,480 円

審議事項 4

電子投票（マイページシステム）の導入

下記に説明された電子投票の導入について賛否を伺いたい。

電子投票導入の目的：

1. 投票の簡素化
2. 投票率の向上
(2019 年に実施された選挙の投票率：会長選 19.2%、評議員選 17.9%)
3. 開票作業の効率化

マイページシステム（後述）導入の目的：

1. 事務委託先である春恒社の電子投票システムはマイページシステム内に組み込まれている
2. 会員サービスのオンライン化
3. 会費未納のお知らせと会費決済の選択肢を増やす

委託先：

春恒社（現在の事務委託先）

注：2 社の電子投票システムで相見積もりを行った。

会員マイページシステムについて：

会員がブラウザ上で ID/PW により自らの情報へのアクセスができるシステム

1. 住所等の変更
2. 会費納入等
(ア) 会費納入状況の確認（トップページで個別に未納かどうかをお知らせ）
(イ) 会費決済画面への移行（クレジットカード・ペイジー・コンビニ決済）
3. 選挙はログイン画面からタブをクリックして進むことで可能

- マイページシステムは 2020 年 11 月から、電子投票は 2021 年選挙から導入予定
- 郵送投票も選択できる

審議事項 5

規約改定

電子投票を導入するため、郵送投票のみを想定した会則を下記の通り改定したい。

〈会則細則第 2 条〉

【改定前】

第 2 条 1. 会長および評議員の選出は郵送によって行う。

第 2 条 3-6) 選挙人は、会長候補および被選挙人名簿の中から会長にふさわしいと思う者を選び、その氏名を投票用紙に記入する。

第 2 条 5-2) 選挙人は、被選挙人名簿の中から評議員にふさわしいと思う者を選び、その氏名を投票用紙に記入する。

第 2 条 5-5) -イ) 所定の投票用紙を使用しなかった場合、その投票用紙のすべてが無効。

付則

1. この細則は、2004 年 9 月 19 日から施行する。
2. 2005 年 9 月 18 日、無効票に関する事項を改定。
3. 2014 年 8 月 25 日、会長選挙方法の変更に伴い、第 2 条第 1 項から第 4 項までの条文を改定。表現修正のために第 2 条第 5 項を改定。

【改定後】

第 2 条 1. 会長および評議員の選出は郵送または電子媒体を用いて行う。

第 2 条 3-6) 選挙人は、会長候補および被選挙人名簿の中から会長にふさわしいと思う者を選び、電子媒体を用いて投票するか、郵送の場合はその氏名を投票用紙に記入する。

第 2 条 5-2) 選挙人は、被選挙人名簿の中から評議員にふさわしいと思う者を選び、電子媒体を用いて投票するか、郵送の場合はその氏名を投票用紙に記入する。

第 2 条 5-5) -イ) 郵送投票で所定の投票用紙、あるいは所定の電子媒体を使用しなかった場合、その投票のすべてが無効。

付則

1. この細則は、2004 年 9 月 19 日から施行する。
2. 2005 年 9 月 18 日、無効票に関する事項を改定。
3. 2014 年 8 月 25 日、会長選挙方法の変更に伴い、第 2 条第 1 項から第 4 項までの条文を改定。表現修正のために第 2 条第 5 項を改定。
4. 2020 年##月##日、電子投票の導入に伴い、第 2 条の条文を改定。

事務局注：付則第 4 項の日付は、賛否を問うた決議の集計を議長が確認した日とする。

日本鳥学会2019年度決算（案）（自2019年1月1日 至2019年12月31日）

I 通常会計

A 収入	2018年度決算	2019年度予算	2019年度決算（案）	備考
1 会費収入	5,953,000	5,821,000	6,058,000	このうち前年度までの 前受金：3,964,000円
a 普通会員会費	5,144,000	5,000,000	5,258,000	
b 維持会員会費	120,000	140,000	140,000	
c 学生会員会費	399,000	381,000	360,000	
d 団体会員会費	290,000	300,000	300,000	
2 鳥類目録売り上げ	183,700	120,000	89,800	19冊
3 用語集等売り上げ	27,000	12,000	45,600	18冊
4 電子ジャーナル売り上げ	907,894	1,000,000	1,060,098	ユニバイオプレス売上
5 大会準備金返納	1,000,000	1,000,000	0	2020年1月に返納
6 雑収入	200,078	250,000	227,263	学術著作権複写使用料 、購読料、送料
7 利子収入	521	520	520	
8 会員寄付金（特別会計へ）	64,000	50,000	68,500	
単年度収入合計	8,336,193	8,253,520	7,549,781	

B 支出

1 事業費	6,563,038	6,347,000	7,314,891	
a 学会誌	5,172,676	4,740,000	5,904,120	英文誌：18(1)(2) 和文誌：68(1)(2) 電子投稿システム年間 利用料を含む
1) 編集費	485,549	540,000	499,886	
2) 英文校閲費	300,000	300,000	300,000	
3) 印刷製本費	3,553,691	3,000,000	4,215,260	
4) 会員向け送料	833,436	900,000	888,974	
b 委員会	285,603	512,000	302,558	
1) 鳥類記録資料費	2,874	60,000	0	
2) 分類委員会経費	0	10,000	0	
3) 企画委員会経費	140,490	172,000	88,156	大会託児所費用、鳥の 学校講師旅費
4) 広報委員会運営費	29,623	60,000	29,696	ドメイン維持費、レン タルサーバ代
5) 基金運営委員会	112,616	150,000	148,226	学会賞選考委員旅費
6) 保護委員会	0	50,000	25,680	
7) 各種委員会経費	0	10,000	10,800	図書シール代
c 出版物	15,759	20,000	9,713	
1) 出版物送料	15,759	20,000	9,713	
d その他	1,089,000	1,075,000	1,098,500	
1) 負担金	25,000	25,000	30,000	自然史学会連合負担金 男女共同参画学協会分 担金
2) 寄付金（特別会計へ）	64,000	50,000	68,500	会員寄付金
3) 大会準備金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
2 事務費	2,048,261	2,400,000	2,451,424	
a 事務外注費	1,517,375	1,550,000	1,557,442	会員管理、会計管理、 出版物発送
b 役員選挙費	-	350,000	321,374	
c 役員旅費	6,464	10,000	4,386	会計監査旅費
d 印刷費	242,291	200,000	224,176	会費請求印刷代、学会 封筒印刷代等
e 通信費	149,116	130,000	147,672	
f 雑費	34,585	50,000	42,397	学会備品、評議委員会 弁当
g 会費納入手数料	98,430	110,000	153,977	
3 予備費	0	50,000	70,934	韓国鳥学会関係者の招 待旅費
単年度支出合計	8,611,299	8,797,000	9,837,249	

C 収支

1 前年度繰越金	13,070,029	12,794,923	12,794,923
2 単年度収支	-275,106	-543,480	-2,287,468
3 次年度繰越金	12,794,923	12,251,443	10,507,455

II 特別会計

A 収入	2018年度決算	2019年度予算	2019年度決算	備考
1 特別会計寄付収入(個人)	64,000	50,000	68,500	
2 特別会計寄付収入(大会)	0	-	883,187	2018年度大会寄付金の合計
3 利子収入	1,872	2,000	1,859	
4 その他	500,000	0	0	
単年度収入合計	565,872	52,000	953,546	
B 支出				
1 内田奨学賞副賞	50,000	50,000	0	
2 黒田賞副賞	100,000	100,000	100,000	
3 中村司奨励賞副賞	50,000	50,000	50,000	
4 IOC助成(伊藤基金)	500,000	-	-	
5 津戸基金シンポ	-	100,000	100,000	
6 その他	0	0	0	
7 雑費	0	1,000	972	送金手数料
単年度支出合計	700,000	301,000	250,972	
C 収支				
1 前年度繰越金	29,801,205	29,667,077	29,667,077	
2 単年度収支	-134,128	-249,000	702,574	
3 次年度繰越金	29,667,077	29,418,077	30,369,651	

上記の通り、相違ありません。

2020 年 7月 15日

監事

加藤 ゆき



監事

和山 幸也

